

令和 2 年度 第 12 回定例会（3 月会議）一般質問

令和 3 年 3 月 11 日

質問 順	議員氏名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の 相手
1	福本 悟	1 上水道未給水地域に対するその後の給水整備計画について 2 通学路の安全確保への取組みとしてのスクールゾーンの指定について	以前に質問した給水整備計画について、町民の生活を守る上で大切なライフラインの一つである上水道、現在もなお上水道の未給水地域がありその大半がろ過装置及び滅菌装置が未設置である。町は、地域からの依頼により水質検査の実施や、地域の総意のもと出来ることを行うとの答弁を頂いた。町長は、良質で安全な生活用水を供給する観点から、その後の給水整備計画について環境保全課等でどのように論議し、具体的対策をどう講じられたか。 通学路の安全対策については、総合計画の基本計画にある「防犯・防災・交通安全体制の充実」の中に、「安心して生活できる社会の構築」とある。町は、児童・生徒が通学するための通学路の現状をどのように認識し、交通安全に加え不審者等から児童・生徒を守る防犯の観点から通学路の安全確保への取組みとして、交通安全対策基本法に基づくスクールゾーンの指定についてどのように考えているか。	町 長 町 長 教育長
2	井藤はづき	移住促進における空家の活用について	移住者の受け皿の一つとして空家の活用が考えられる。しかし、家主が貸し出しや売却に後ろ向きである空家が多いことが大きな課題となっている。 そこで、そもそも空家がそのまま放置されることでどのような影響が出るのかを考えることで、移住者の受け皿として空家の活用を推し進めていく意義とこれからの具体的な方向性を見出したい。 (1) 空家を放置することで生じる影響について (2) これまで取り組んできた空家対策と課題について (3) これからの移住促進と空家対策の関係について	町 長

3	増田安至	1 都市計画マスタープラン改定について 2 再生可能エネルギーへの取り組みについて	(1) 時系列によるこれまでの経緯について (2) 評価できる点とできなかった点について (3) 周辺自治体との比較による地域特性について (4) 本町オリジナルの計画(改定後のロードマップ)はどうか (5) 国・県の改定を踏まえた計画の策定について (6) 人口減少社会を見据えた5年後、10年後の未来予想図について (1) 町の取り組みはどうか (2) 国からの補助金はどのようなものがあるか (3) 町独自の取り組みはあるのか	町 長
4	藤川博和	環境・衛生問題の町の対応について	近年、辺田見山周辺では、数カ所で内水氾濫が発生している。昨年、環境保全課において、町内の内水氾濫地区の排水路への水量調査が行われたが、その調査結果を踏まえた内水氾濫対策について質問する。 また、東禅寺地区では、騒音・振動等の環境問題も発生しているため、それらの対策について質問する。 (1) ふれあい広場周辺の内水氾濫対策について (2) 東禅寺町営住宅周辺の内水氾濫対策について (3) 東禅寺地区で採石事業を行っている事業所による土砂崩落・騒音・粉塵飛散などに対する町の対応について	町 長

5	福永 啓	町光ファイバー事業を検証する	(1) 光ファイバー事業の経緯と現状はどのようなになっているか。 (2) 光ファイバー事業の課題はなにか。その課題にどのように対応していくのか。	町 長
6	田上 忍	1 安心・安全な水の提供について 2 不法投棄について	(1) 粒麦地区水道はどのように進んでいるか。 (2) 馬立地区水道はどのように進んでいるか。 (3) 水道関係について検討委員会を令和2年度作ると6月議会で答弁していたが、その結果はどうか。 (4) 安心・安全な水の提供に対して町はどう考えているか。 (1) 過去3年間の不法投棄の状況はどうなっているか。(担当課ごとの件数、処理費用、不法投棄された物) (2) 各担当課ごとの対策は何をやったか。 (3) 未然防止するための方策はどう考えているか。	町 長 町 長 教育長
7	田上英司	竹バイオマス事業の原点について(その2)	(1) 事業会社の頓挫は金融機関からの融資の不可能が起因したのか。 (2) 町は平成22年2月15日事業断念したが、会社は交付金事業に頼らず民間ベースでも事業継続を望んでいたのではないのか。 (3) 山間地区の当時の嘱託員の嘆願書を見たことはあるか。どう処理されたか。 (4) 熊本環境資源ネットワークからのお願い文書を見たか。どう処理されたか。 (5) 国への自主返還の財源は何か。 (6) 住民訴訟に対する控訴費用441万円の行方は。	町 長

			(7) 現町長の控訴取下げは住民訴訟団の意向だったのか。 (8) 控訴取下げの際、事業内容の吟味はされているのか。 (9) 前町長・山本氏の代理弁護士の意見書の処理は。 (10) 現町長の「目論見どおり」の表現は控訴取下げの原点なのか。 (11) これまでの町の支出の裁判費用はいくらか。 (12) 今後の放置竹林対策はなにか。	
--	--	--	--	--